

2010しっぽの会収支決算報告

自2010年1月1日～2011年3月31日

いただいたご支援に心より感謝をこめて

いつもしっぽの会をご支援いただきまして誠に有難うございます。お陰さまで、昨年も多くのしっぽの会の犬や猫に新しい飼い主さまとの出会いがありました。また、保健所情報をご覧になった方が、保健所から直接、犬や猫を引き取ってくださったり、多くの犬猫が再び生きるチャンスを手に入れました。また、昨年はNPO法人となり多くの方々がサポートメンバーになってくださり、足長基金にもご賛同の輪が広がりました。一方、飼い主や繁殖業者からの放棄、不妊・去勢手術を施していない犬猫から産まれた子犬・子猫が不用な命として捨てられました。一匹でも多くの犬猫の命が明日へ生きる希望が持てますよう、引き続き、皆様からの温かいご支援をお待ち申し上げております。今年度も、しっぽの会をよろしくお願いたします。

NPO法人あいがん動物を守るHOKKAIDOしっぽの会 代表 稲垣 真紀

ご寄付(収入)について

昨年の犬猫の保護数は206匹で、札幌市や周辺の市町・遠くは静内保健所、中標津保健所からも計8匹の犬を保護しました。また、163匹の犬猫を新しい飼い主さまに譲渡いたしました。昨年と比べ譲渡数が減少していますが、当会で保護する犬猫も病気や怪我などハンディを持つ子が多く、譲渡までの期間が長くなっています。医療費などが増えているのは、そのためですが、お陰さまで足長基金のご寄付金も毎年増え、多くの皆さまの温かいご支援のお陰と深く感謝しています。カレンダーやオリジナルグッズなどは、昨年以上に多くの方にお求めいただけました。イベントではご協賛して下さった方々が、ご寄付や募金をしてくださいましたし、物資を寄せてくださる方も大勢いらっしゃいました。皆さまに支えていただき、会を運営することが出来ました。本当に有難うございました。今年は東日本大震災を受け、厳しい一年になるのではと思いますが、一匹でも多くの小さな命を救っていきたいと思います。

支出の内容について

支出の多くは、医療費、啓発費、人件費、光熱費、環境整備費が占めています。やはり、足長の犬猫が収容数の約4割を占めていることが、医療費がかかる原因でもありますが、保護した犬猫はこれまで手をかけて貰っていない子がほとんどで、体力や免疫力のない子も多くいます。また、保護数の増加と犬猫のケアに伴い、人手がかかるようになりました。十分とは言えませんが、引き続きケアしていきたいと思います。なお、昨年の繰越金は新犬舎建築費用に充てさせていただきました。本当に有難うございました。

2011年度の予定について

今年はシニア以上の犬猫には血液検査を実施し、病気の予防に努めます。環境整備については現建物の屋根の修復など、敷地に亡くなった犬猫の納骨をして、そこに樹木を植えることを予定しています。また、4月に敷地内を整地しました。7月には主催イベント、9月には動物愛護週間のイベント参加を予定しています。10月中旬にはカレンダーの販売を予定しています。

足長基金と地域猫基金について

足長基金は、二期合わせて9,060,163円のご寄付をいただいています。足長の犬猫は全体の収容数の4割強を占めていますが、経費のうち、医療費、人件費、光熱費、衛生費、の4割で計算させていただくと、医療費369万、人件費357万、光熱費58万、衛生費4万。足長通信代20万(部数300/毎月発行。切手は寄付いただいたものを使用)の合計8,080,000円の支出となりました。■しっぽ地域猫基金は3月末までに475,880円のご寄付をいただきましたが、現在動きがありません。まずは、地域猫の考え方を周知することから始めたいと思いますので、地域猫のチラシ作りなどから使わせていただきます。ご支援くださった皆さまに心から感謝申し上げます。